

ブランド力向上の新たな拠点

夏川カントリーエレベーター



夏川カントリーエレベーター竣工式が3月5日、JAや県、市の関係者ら約100人が出席し行われました。

JAはブランド化に向け、品質の均一化と今ずり米での有利販売を進めるなど、新たな米の販売戦略が必要と

考え、フレコン利用による出荷の効率化や同市花泉地区の老朽化施設の整理・集約を目的に、平成28年5月に建設に着工。30年3月の完成予定でしたが、幾たびの自然災害等に見舞われ、30年11月の完成となりました。

同施設の処理能力は最大で粳約2,000トン、玄米約1,400トン出荷が可能です。最新の設備を備え、皆さまにはこれまで以上に安定した品質の米を届けることが可能となります。同施設は9月から稼働します。



完成した施設

